

令和2年度

新・大阪府豊かな海づくりプラン 進捗状況（詳細）

令和3年3月

大阪府環境農林水産部水産課

目 次

取組方向	施策	標 題	キーワード	ページ
① 海や川 の環境を豊かにする	1	大阪湾の漁業生産力を底上げするための広域的な漁場整備の推進	攪拌ブロック礁	4
	2	大阪湾の漁場環境を蘇らせるための取組みの促進	海底窪地	5
	3	海域・河川のごみ対策	ごみ対策・漁場環境美化	5
	4	魚介類の生産にとって適正な栄養塩管理に向けた取組み	栄養塩の適正管理	6
	5	大阪湾の漁場環境や水産資源を支える水産研究の強化	調査・研究	6
	6	海域・河川開発に伴う漁業影響を抑制するための取組み	漁業影響	6
	7	内水面漁場環境保全のための取組みの促進	河川環境・生態系保全	7
② 水産資源を豊かにする	8	大阪湾の水産資源の増大とブランド化をめざした栽培漁業の推進	栽培漁業	8
	9	科学的知見に基づく水産資源の適切な管理	資源管理型漁業	9
	10	適正な漁業秩序の維持による水産資源の保護	漁業調整、漁業取締、遊漁	9
	11	関西国際空港周辺海域を活用した資源増大の取組み	水産動植物の採捕禁止区域	9
	12	新技術を活用した養殖業への取組み	養殖	10
③ 漁業者の生活を豊かにする	13	ブランド化や6次産業化の推進による「攻めの漁業」展開	ブランド化、6次産業化	11
	14	「はま」の特徴を活かした漁業振興策の取組み	浜の活力再生プラン	12
	15	漁業経営安定対策の推進	所得補償制度	13
	16	漁業者の所得向上に向けた漁業協同組合の事業・経営基盤の強化	所得向上	13
	17	大阪湾の漁業の将来を担う若手漁業者やリーダーの育成	担い手育成	14
	18	漁業の基盤となる漁港の整備や漁協施設整備への支援	共同利用施設整備	14
	19	地域に密着した漁港の効率的な利用と維持管理	第1種漁港の市町移管	14
	20	省エネ漁業の取組みによるコスト削減	省燃油対策	14

取組方向	施策	標 題	キーワード	ページ
類新 鮮な 魚を 届ける 介	④ 21	「大阪うみ・かわ・さかな」の魅力発信の推進	イメージアップ、PR	15
	22	漁業者の所得向上に資する新たな流通構造の検討	流通	15
	23	大消費地店舗と漁港とをつなぐ“お魚の架け橋”づくり	ホテルや料理店への販売促進	16
力海 を 届ける 魅	⑤ 24	「魚庭（なにわ）の海づくり大会など」イベントを活用した大阪漁業の発信	イベント	17
	25	「はま」と「まち」のふれあいの場の創出と情報発信	観光漁業、青空市場	17
	26	府民が自慢できる希少生物保護など生物多様性	希少生物の保護	17
	27	漁業者と府民とが協働した森・川・海の世界美化活動や魚食文化の伝承	府民協働	18
安全 ・ 安心 を 届ける	⑥ 28	大規模な地震、津波等に備えた漁港、海岸の整備	地震津波対策	19
	29	貝毒の発生による健康被害防止対策の徹底	貝毒対策	19
	30	コイヘルペスウイルス病等魚病のまん延防止のための対策の徹底	魚病のまん延防止対策	19
	31	養殖業に被害をもたらすカワウや生態系を乱すブラックバス等外来魚対策の推進	外来魚対策	20
	32	漁港や海域における油流出事故や漂流漂着ゴミへの迅速な対応及び安全操業対策の推進	安全操業対策	20

(略称)

略称	正式名称
環農水研	(地独) 大阪府環境農林水産総合研究所
基金	(公財) 大阪府漁業振興基金
全漁連	全国漁業協同組合連合会
府漁連	大阪府漁業協同組合連合会
漁協	漁業協同組合
水技C	環農水研 水産技術センター
生物多様性C	環農水研 生物多様性センター
美化協会	特定非営利活動法人大阪府海域美化安全協会

取組方向① 海や川の環境を豊かにする

施策1

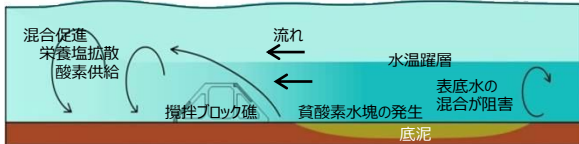
大阪湾の漁業生産力を底上げするための広域的な漁場整備の推進

【内容】

<攪拌ブロック礁の設置>

【概要】

- 岸和田市及び泉佐野市地先に攪拌ブロック礁を計200基設置することにより、底層から表層の海水を攪拌し、南部海域の栄養塩不足解消に寄与することを目指している。

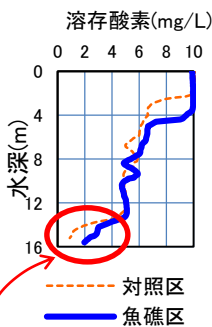


【実績】

- 令和2年度は、8基を設置し、計画数200基の設置を完了した（R2.11）。令和3年度は効果調査等を実施予定。

【効果】

- 海底への酸素の供給
 - ・設置海域周辺で、底質の汚濁を示すCOD及び硫化物の濃度の減少、溶存酸素量の増加が確認
- 海底の栄養塩の巻き上げ
 - ・設置海域の下流方向に巻き上がりが確認
 - ・設置海域周辺で、植物及び動物プランクトンの個体数の増加が確認
- 生物の生息空間の創出
 - ・キジハタ、カサゴ、イサキ等の生息を目視で確認



目視観察されたカサゴ (平成29年度)

ブロック礁周辺では海底付近で酸素濃度が上昇

<広域的な漁場整備>

- ・魚介類の産卵や稚魚の育成場となる藻場やエサ場を再生するため、水産環境マスタープランに沿い、放流・資源管理の取組みと併せた漁場の整備を行った。

【数値目標】

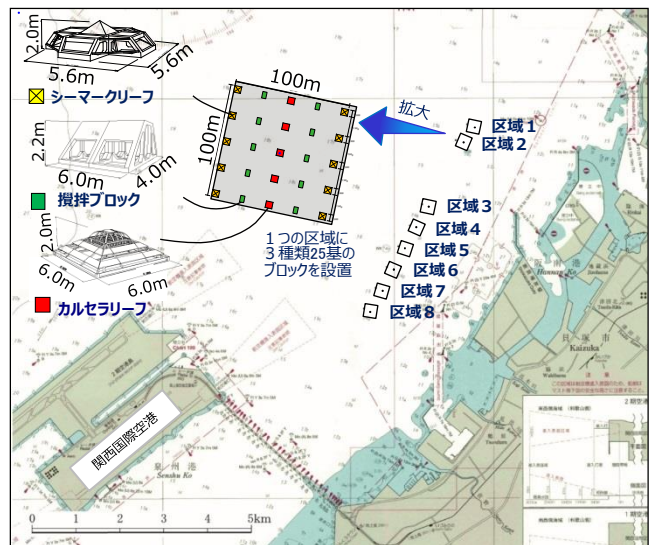
攪拌ブロック礁設置累積数
(H26 : 48基→H29 : 200基)
⇒R2:200基達成

【実績】

■攪拌ブロック礁の設置実績

年度	計画 (基)	設置数 (基)	事業費 (千円)
25	(測量・設計)	(測量・設計)	20,000 (H24補正)
26	50	48	90,700 (H25補正)
27	50	22	45,850
28 (当初)	50	17	37,042
28 (補正)	-	11	23,600
29	50	42	89,901
30	-	19	45,410
01	-	33	80,500
02	-	8	20,950
計	200	200	

注：事業費は、国内示額（効果調査費を含む）。



■攪拌ブロック礁設置位置

■広域的な漁場整備実績

年度	場所	内容	事業費 (千円)
26	樽井・岡田浦	餌料培養礁設置	39,500 (H25補正)
27	樽井・岡田浦	効果調査 (餌料生物の増加、藻類の着生を確認)	930 (H27当初)
28	樽井・岡田浦	同上	880 (H28当初)

注：H28で事業終了

施策2 大阪湾の漁場環境を蘇らせるための取組みの促進

【内容】

<海底窪地の埋戻し>

- ・平成23年11月から阪南2区沖（岸和田市）の窪地において本格的な埋戻しが開始された。
- ・平成30年度は、阪南2区沖窪地において、堺泉北港助松地区航路浚渫土砂5万 m^3 、和歌山下津港浚渫土砂1万 m^3 での埋戻しを実施した。

<海底耕耘>

- ・令和2年度は、（公財）大阪府漁業振興基金事業を活用し、府漁連が主体となり、令和3年2月から3月に忠岡町沖から岬町沖にかけて、貝毒プランクトンの発生抑制効果も期待して、海底耕耘を実施した。

<干潟・浅場の造成>

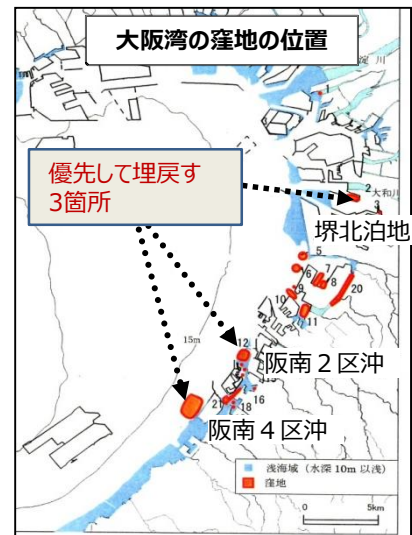
- ・田尻町地先に整備した浅場（平成23年に国の交付金を活用）の管理をNPO法人が実施した。

【実績】

■ 海底窪地の埋戻しの進捗状況（R2.3時点）

窪地位置	容量 (万 m^3)	埋戻量 (万 m^3)	残量 (万 m^3)	事業費 (千円)
北泊地（堺市）	125	31	94	-
阪南2区沖（岸和田市）	452	431	21	-
阪南4区沖（貝塚市）	1,351	2	1,349	-
計	1,928	464	1,464	

注：事業費は、国土交通省の航路浚渫事業で出た土砂の有効利用であるため「-」で示す。



■ 海底窪地の位置

施策3 海域・河川のごみ対策

【内容】

- ・海域及び河川ごみの大部分は、不法投棄されたものが雨などにより流出してきたものであり、景観を損ね、漁業操業の妨げになっている。
- ・令和元年度は、海域で1,310 m^3 、河川で6.0 m^3 のごみ回収を行った（美化協会事業を含む）。（令和2年度は、年度末まで事業継続中）

■ 漁船により回収された海底ごみ



【実績】

■ 漁船・漁業者によるごみ回収実績（海域）

実施主体	事業名	29	30	元
府	漁場環境美化推進事業	56.0	54.0	49.0
府	漁港区域清掃事業	19.2	17.0	14.0
美化協会	漁業混在ごみ回収事業	1,251	1,431	1,247
計		1,326	1,502	1,310

（河川）

実施主体	事業名	29	30	元
府	内水面振興対策推進事業	14.5	14.5	6.0

令和元年度は新型コロナウイルスの影響により一部清掃中止。

施策4 魚介類の生産にとって適正な栄養塩管理に向けた取組み

【内容】

＜栄養塩（窒素・リン）の適正管理＞

- ・「豊かな大阪湾創出手法に関する懇話会」において、大学や企業などの有識者と関係部局（環境、港湾、水産など）が意見交換を行い、豊かな大阪湾を創出する手法について検討を行った。
- ・関係12府県及び瀬戸内海漁業調整事務所をメンバーとする豊かな瀬戸内海の再生に係る連絡協議会にて各府県と情報交換を行った。

【実績】

■瀬戸内法の改正に係る取組み

年度	内容	府の対応
26	26.11瀬戸内法改正	
27	府県計画の検討	大阪府環境審議会瀬戸内海環境保全計画部会開催
28	28.10府県計画の変更	府計画の変更

施策5 大阪湾の漁場環境や水産資源を支える水産研究の強化

【内容】

環農水研は、大阪府からの要請に基づき、必要な調査・研究を行っている。



■水産技術センターにおける調査・研究状況
(左：船上測定、右：室内分析)

【実績】

■行政課題に基づき府から研究所へ調査・研究を依頼した項目（令和2年度）

番号	内容
水産-1	危機管理課題（有毒プランクトン、KHV病等の特定疾病）に関する調査・研究
水産-2	浅海定線調査
水産-3	瀬戸内海における広域的な資源回復の推進に関する調査・研究
水産-4	大阪府域における持続可能な資源管理型漁業の推進に関する調査・研究
水産-5	水産資源の回復・維持と漁業生産の向上をめざした栽培漁業技術開発に関する調査研究
水産-6	安威川・余野川における漁業権河川調査
水産-7	気候変動等に対応した養殖ワカメ種糸生産技術の開発について
水産-8	毒化した貝の出荷について、安全性の検証とその手法の確立
水産-9	大阪産(もん)水産物のブランド化推進

施策6 海域・河川開発に伴う漁業影響を抑制するための取組み

【内容】

- ・河川においては、国土交通省または府河川室が実施する河川整備の取組みについて、生物多様性や縦断的連続性の確保の観点から確認・意見等を行っている。
- ・海域においては、事業者が行う工事や実験等について、漁場環境に及ぼす影響抑制の観点から確認・意見等を行っている。

【実績】

■河川整備に係る参画（令和2年度）

年度	内容
2	<ul style="list-style-type: none"> ・琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会への参画（琵琶湖・淀川流域圏の再生計画） ・大和川水環境協議会への参画（大和川水環境改善計画） ・府内の河川整備計画の確認（神崎川、猪名川上流、猪名川下流の各整備計画）

施策7 内水面漁場環境保全のための取組みの推進

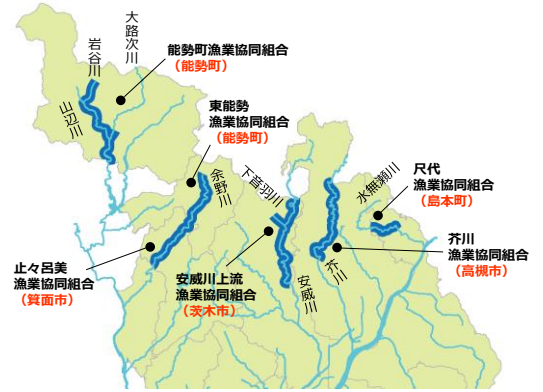
【内容】

・府内8漁業権河川のうち、ダム建設工事が進められている安威川及び流域に碎石場がある余野川について、水産動植物（アユ・マス類）の増殖に適する環境か否かを判断するため、経年的な環境変化を調査している。

【実績】

■漁業権河川の調査（令和2年度）

年度	調査河川	調査項目
2	安威川、余野川	河川環境、魚類、付着藻類、底生生物、アユ・マス類の生息状況



■大阪府の漁業権河川

取組方向② 水産資源を豊かにする

施策8

大阪湾の水産資源の増大とブランド化を目指した栽培漁業の推進

【内容】

・栽培漁業については、第7次大阪府栽培漁業基本計画に基づき、栽培Cでヒラメ等4種の種苗生産及び種苗放流を、水技Cでトラフグの生産・放流の技術開発を行っている。

第7次大阪府栽培漁業基本計画（概要）

《計画期間》平成27年度～令和3年度（7年間）
《生産・放流魚種と令和3年度の目標》

魚種名	放流数量（放流時の大きさ）
ヒラメ	100千尾（全長 80mm）
キジハタ	100千尾（全長100mm）
アカガイ	100千個（殻長 30mm）



（ヒラメ）



（キジハタ）



（マコガレイ）



（アカガイ）

《技術開発魚種》
トラフグ



※アカガイ及びトラフグは、第7次計画からの新規対象種
マコガレイは第7次計画の改定で対象外となった



トラフグ
ふ化仔魚



トラフグ種苗
焼印標識

【数値目標】

キジハタ等放流累積尾数
（R2～R6：150万尾）

【実績】

■栽培対象魚種の種苗生産・放流実績（令和2年度）

魚種	種苗生産		放流	
	尾数 (千尾)	サイズ (mm)	尾数 (千尾)	サイズ (mm)
ヒラメ	—	—	104	90-95
キジハタ	200	35	100	80-100
アカガイ	—	—	80	34
トラフグ	—	—	11	74
（計）	—	—	295	—

注：ヒラメ及びアカガイは、種苗を購入（生産なし）
トラフグは、計画では生産を行わないが、試験的に生産を実施し、放流の実績を記載

■キジハタ等放流累積尾数

（千尾・千個）

年度	25	29	30	元	2	計画
ヒラメ	130	140	123	103	104	100
マコガレイ	100	105	105	62	—	100
キジハタ	71	100	100	100	100	100
アカガイ	—	50	55	80	80	100
（計）	301	395	323	345	284	—
（累積尾数）	—	1,114	1,497	1,842	2,126	—

■放流効果調査結果（令和2年度）

種	結果
アカガイ	・市場調査で24個を確認
トラフグ	・市場調査で7尾の再捕を確認

■放流の効果（キジハタ）

・キジハタは、調査の結果、堺沿岸で52.4%、泉大津沿岸で35.1%が放流由来の個体であり、放流個体の割合が高い。
・キジハタは、漁獲量10トン（記録のある中での最大（S63））を目指して放流しており、平成28年度は約3.6トン（推定）の漁獲があった。

施策9 科学的知見に基づく水産資源の適切な管理

【内容】

- ・資源管理型漁業は、資源状況に応じて、資源管理を行い、魚価単価の向上や資源枯渇の防止などを図り、持続的に漁業を行うことを目指し、資源管理部会における指導、漁業生物モニタリングによる調査を実施している。
- ・令和元年度は、府漁連が主催する漁業者検討会等に出席し、研究所が実施する調査の結果を提供するとともに、資源管理手法等に指導・助言を行った。
- ・また、府漁連等と連携し、メイタガレイの再放流パトロール（産地市場を巡回し小型魚の再放流を啓発）に参加した。
- ・「フィッシングショー-OSAKA2018」にてキジハタの展示を行い、全長28cm未満のキジハタの再放流について啓発を行った。

【実績】

■ 小型魚の再放流サイズ（資源管理部会での申合せ事項）

魚種	全長	魚種	全長
シヤコ	10cm	オニオコゼ	20cm
ガザミ	13cm	マコガレイ	15cm
クルマエビ	13cm	ヒラメ	28cm
マダイ	13cm	アナゴ	28cm
メイタガレイ	13cm	キジハタ	28cm

■ メイタガレイパトロールの実施状況（令和元年度）

実施日	巡回先
元.6.21	泉佐野漁協
元.7.2	尾崎漁協
元.7.3	下荘漁協
元.7.4	岡田浦漁協・深日漁協
元.7.5	岸和田市漁協



施策10 適正な漁業秩序の維持による水産資源の保護

【内容】

- ・漁業許可、漁業権、漁船等の適正管理を行うとともに、漁業関係者に対し法令等の周知や漁業調整を行っている。
- ・漁業取締船「はやなみ」により、関空周辺採捕禁止区域における違反漁船や漁業関係法令違反に対し検挙・指導等の取締りを実施している。

【実績】

■ 漁業取締船「はやなみ」による指導、取締実績

年度	取締出航回数	夜間・早朝取締回数	警告・指導件数	行政処分数
29	187	45	38	1
30	199	44	28	1
31/1	169	41	25	1
R3.2未 現在	169	36	17	1

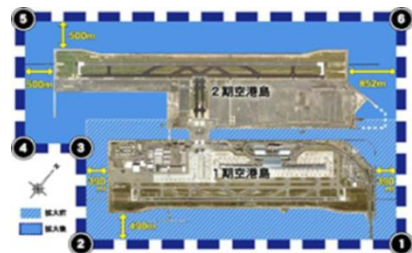
施策11 関西国際空港周辺海域を活用した資源増大の取組み

【内容】

- ・関西国際空港周辺における水産動植物の採捕禁止区域における水産資源の増大、保護の効果を高めるため、漁船による週休日の啓発活動を実施している。
- ・種苗放流を行う際、生残率を高めるため、種苗の一部を区域内に放流している（キジハタ、アカガイ）。

【実績】

■ 漁船を活用した週休日の啓発活動の実施回数 令和2年度 27回



■ 関西国際空港周辺における水産動植物の採捕禁止区域

施策12

新技術を活用した養殖業への取組み

【内容】

- ・養殖に関する水質データの提供や疾病に係る情報提供等、持続的な養殖の推進に努めている。

【実績】

- ・養殖を行う事業者または漁業者団体に対し、水技Cまたは生物多様性Cが技術指導を実施

取組方向③ 漁業者の生活を豊かにする

施策13 ブランド化や6次産業化の推進による「攻めの漁業」展開

【内容】

＜ブランド化に向けた取組み＞

- ・ブランド化については、府内産水産物の競争力の強化をめざした販路拡大の取組みを行っている。
- ・令和2年度は、コロナ関係の国支援事業を活用し、府内の多くの小中学校の学校給食に府内産水産物の提供を行った。

■ 府内学校給食への府内産水産物の提供



泉だこの唐揚げ
(河内長野市,R3.1)



ちりめんじゃこの炒飯
(忠岡町,R3.2)

■ 水産エコラベルの認証取得

- ・水産エコラベルについては、令和2年6月に大阪府資源管理船びき委員会がマリンエコラベルの認証を取得した。
- ・漁業者や加工業者等の取組みの促進を図るため、ラベルの認知度向上や取組意義の啓発に努めていく。



＜6次産業化の推進＞

- ・ブランド化に関する取組みについては、府内産水産物の競争力の強化をめざした取組みを行っている。
- ・令和2年度は、大阪市漁協株式会社が「淀川産天然ウナギの缶詰」の試作を行った。

【実績】

■ 小中学校の学校給食への府内産水産物の提供

大阪府国産農林水産物学校給食提供事業(概要)

《期間》 令和2年8月～令和3年3月
 《人数》 府内36市町村／1,198校（約53万人）
 《数量》 国産水産物 約106トン
 (うち府内産約29.4トン)
 《メニュー》 泉だこの唐揚げ、しらす和え、はもの天ぷら 等

■ 大阪府国産農林水産物学校給食提供事業紹介

届けます!!大阪湾で獲れたしらすと泉だこ

新型コロナウイルス感染拡大で出荷が滞るなど影響を受けた府内漁業生産者支援を目的に、大阪府内の小中学校の給食に泉だこ、しらすの提供をすることになりました。そのため大阪府学校給食会では、学校給食の食材として選んでいるかを確認するため加工場の視察や品質チェックなどを実施し、安全・安心な物資を提供しています。

令和3年3月分まで、多くの市町村の給食に登場します。大塚の町元を担う子供たちが大阪湾の恵みを知り、その新鮮な水産物を楽しく食べることを通じて、地元の食材に愛情を持って届けられ幸いです。

しらす

実施日 令和2年10月16日
 実施校 岬町立小・中学校
 献立内容 ごはん・肉じゃが・キャベツのしらす和え、牛乳

泉だこ

実施日 令和2年11月16日
 実施校 龍崎町立龍崎小学校
 献立内容 たこめし・大塚のおかか和え・なると汁・牛乳

給食会
だより
大阪産

(公財) 大阪府学校給食会 給食会だより (R3.1)

■ 府内の水産エコラベル認証取得状況

発効年月日	名称	取得者	認証対象	備考
R2.6.11	マリンエコラベル	大阪府資源管理船びき委員会	瀬戸内海機船船びき網漁業(イカナゴ、イワシ類)	※
計		1件		

出典：マリン・エコラベル・ジャパン協議会 <https://www.melj.jp/list>

※注：漁獲物や製品にラベルを貼る場合は、流通加工段階の事業者認証を受ける必要がある。

【数値目標】

6次産業化による加工品開発数
 (H30：4件/年→R2-6：計20件)

■ 6次産業化等による加工品開発

年度	主体	品目	備考
R1	大阪市漁協株式会社	大阪産しらすぎょうさ	6次化
R2	大阪市漁協株式会社	淀川産天然ウナギの缶詰	6次化
計	2件		

■プライドフィッシュのPR

・プライドフィッシュについては、平成26～28年度に府漁連が「魚庭のアカシタ」等12魚種を選定し、重点的にPRを行っている。

プライドフィッシュ（概要）



漁師が選んだ、本当においしい魚
PRIDE FISH

《開始》平成26年1月
《企画》全国漁業協同組合連合会（全漁連）
《内容》各県の県漁連が、「本当においしい漁師自慢の魚」として推薦する魚を旬ごとに選定（1県につき3年間×4種＝最大12種を選定）全漁連HPで、その魚が「おいしい理由」や漁師のこだわり、漁法などを交えて紹介HPで買える店・食べられる店等も情報発信

■プライドフィッシュの選定魚種

年度	魚種			
26	【春】イカナゴ	【夏】マダコ	【秋】サワラ	【冬】イヌノシタ
27	【春】シラス	【夏】マイワシ	【秋】ガザミ	【冬】クロダイ
28	【春】マアナゴ	【夏】スズキ	【秋】マルアジ	【冬】マダイ

	平26	平27	平28
春	 魚庭のイカナゴ	 大阪のイワシシラス	 大阪のマアナゴ
夏	 魚庭のマダコ	 大阪のマイワシ	 大阪のスズキ
秋	 魚庭のサワラ	 岸和田祭りのわたりがに	 大阪のマルアジ
冬	 魚庭のアカシタ	 茅渚の海のクロダイ	 大阪のマダイ

施策14

「はま」の特徴を活かした漁業振興策の取組み

【内容】

＜浜の活力再生プラン＞

- ・地元市町や漁協が主体的に作成する「浜の活力再生プラン（浜プラン）」の策定指導、調整を行った。
- ・平成28年度末までに、浜プラン24委員会について国に承認を受け策定され、令和2年度には8委員会が第2期を開始する。
- ・新たに創設された浜の活力再生プラン表彰制度に基づき、平成30年3月に岸和田臨海地区が水産庁長官賞を受賞した。



浜の活力再生プラン（概要）

《期間》平成26年度～
 《目的》漁業所得の向上を通じた地域の活性化
 《内容》地域水産業再生委員会（市町・漁協または漁業者団体は必須構成員）が中心となり、各地域が主体的に定めた具体的な取組みを実行するための5年間の計画を策定
 《ミット》関連する施策（補助事業等）の優先採択
 《目標》5年後に所得の向上10%以上
 《具体的な取組み例》
 漁獲量増大、高品質化、衛生管理、商品開発、出荷拡大、消費拡大等（各浜の実態に即し策定）

＜浜の活力再生広域プラン＞

- ・複数の地域水産業再生委員会及び府が構成員となり作成する「浜の活力再生広域プラン（広域プラン）」の実現に向けて国の補助事業が活用できるよう指導・助言を行った。
- ・平成28年度末までに、広域プラン2委員会について国に承認を受け策定され、令和2年度には1委員会が第2期を開始する。

浜の活力再生広域プラン（概要）

《期間》平成27年度～
 《目的》漁業所得の向上を通じた地域の活性化
 《内容》広域水産業再生委員会（複数の地域水産業再生委員会及び都道府県で構成）が中心となり、浜の機能再編や中核的担い手の育成を推進するための具体的な取組みを定めた5年間の計画を策定
 《ミット》関連する施策（補助事業等）の優先採択
 《目標》競争力強化に資する定量的な成果目標（例：市場統合による集荷率、共同出荷・販売による単価向上、新規就業者数等）
 《具体的な取組み例》
 市場・水産関係施設の集約・再整備等

【数値目標】

「浜の活力再生プラン」認定数
 (H26：4委員会→R1：15委員会)

【実績】

■「浜の活力再生プラン」の策定状況

承認年月	地域水産業再生委員会の名称	再生委員会の構成員
26.9	大阪市地区	大阪市漁協、大阪市
26.9	岸和田臨海地区	鯉巾着網漁協、岸和田市、府
26.10	尾崎地区	尾崎漁協、阪南市、阪南市尾崎漁業組合地域協議会
26.12	岸和田春木地区	春木漁協、岸和田市、府
27.6	岸和田市地蔵浜地区	岸和田市漁協、岸和田市、府
27.6	佐野漁港泉佐野地区	泉佐野漁協、泉佐野市、府
27.6	堺市出島漁協地区	堺市出島漁協、堺市、府
27.7	泉南地区	岡田浦漁協、泉南市
27.10	佐野漁港北中通地区	北中通漁協、泉佐野市、府
27.12	下荘地区	下荘漁協、阪南市
28.4	高石地区	高石市漁協、高石市
28.4	泉大津地区	泉大津漁協、泉大津市
28.4	忠岡町地区	忠岡漁協、忠岡町
28.4	田尻町地区	田尻漁協、田尻町、府
28.4	西鳥取	西鳥取漁協、阪南市
28.4	岬町（淡輪部会）	淡輪漁協、岬町、府
28.4	岬町（深日部会）	深日漁協、岬町、府
28.4	泉南郡岬町養殖	小島養殖生産組合、岬町
29.3	大阪住吉	大阪住吉漁協、大阪市、府
29.3	堺市大浜西	堺市沿岸漁協、堺市漁協、堺市、府
29.3	岬町（谷川部会）	谷川漁協、岬町、府
29.3	岬町（小島部会）	小島漁協、岬町、府
29.3	堺市浜寺漁協地区	堺市浜寺漁協、堺市
29.3	樽井地区	樽井漁協、泉南市
計	(24委員会)	

■「浜の活力再生広域プラン」の策定状況

承認年月	広域水産業再生委員会の名称	広域委員会の主要な構成員
(27.11 28.2 修正)	大阪・泉州広域	大阪市地区、堺市浜寺漁協地区、高石地区、泉大津地区、忠岡地区、岸和田春木地区、岸和田臨海地区、岸和田地蔵浜地区、佐野漁港北中通地区、佐野漁港泉佐野地区、泉南地区、尾崎地区、西鳥取、岬町養殖等 大阪住吉漁協地区、堺市大浜西地区、堺市出島漁協地区、佐野漁港泉佐野地区、田尻地区、泉南地区、樽井地区、西鳥取、下荘地区、岬町、府漁連等
28.7	大阪府広域	
計	(2委員会)	

施策15 漁業経営安定対策の推進

【内容】

- ・漁業経営安定対策（所得補償制度）への加入促進について指導・助言を実施した。
- ・休漁等資源管理の取組みの履行確認を行った。
- ・作成から5年目を迎えた計画の評価・検証及び高度化の推進を行った。

【実績】

■ 漁業経営安定対策の取組み漁協（令和2年度）

実施主体	漁業種類
大阪市漁協	船びき網
堺市浜寺漁協	船びき網
高石市漁協	船びき網、スズキ建網
泉大津漁協	船びき網
忠岡漁協	船びき網
春木漁協	船びき網
岸和田漁協	船びき網、小型底びき網
岸和田漁協	小型底びき網
北中通漁協	船びき網
田尻漁協	底びき網
岡田浦漁協	船びき網
西鳥取漁協	底びき網
下荘漁協	さわら流網
淡輪漁協	船びき網
深日漁協	船びき網、小型底びき網
深日漁協	船びき網、刺網
谷川漁協	定置網
大阪府鰯巾着網漁協	まき網、船びき網
計	16漁協20計画

施策16

漁業者の所得向上に向けた漁業協同組合の事業・経営基盤の強化

【内容】

- ・漁協合併については、漁協の経営基盤強化につながることから、関係団体と調整を進めている。
- ・平成30年度は府漁連主催の漁協役職員研修会において、漁協合併をテーマに講演を行った。

【実績】

■ 全漁連と連携した取組み等

年月	内容
30.11	・2018年度組織再編等推進会議出席
30.12	・府漁連主催漁協役職員研修会で漁協合併をテーマに講演
31.2	・JF全漁連合併現地研修会出席（三重県）
2.2	・漁業就業支援フェア2021（大阪府）

施策17

大阪湾の漁業の将来を担う若手漁業者やリーダーの育成

【内容】

- ・後継者対策については、府漁連が取り組む新規漁業就業者総合支援事業について助言を行っている。
- ・若手リーダーの育成については、府漁連と連携し取組みを進めている。
- ・令和2年度は、新規就業者総合支援事業により、府内で計5名の新規就業者の受け入れがあった。

【実績】

■ 新規漁業就業者総合支援事業による新規就業者受入

年度	27	28	29	30	元	2
人数	10	6	5	3	10	5

施策18 漁業の基盤となる漁港の整備や漁業協同組合施設整備への支援

【内容】

- ・水産物の安定供給に重要な基盤である漁港の整備について、国の「新たな漁港漁場整備長期計画(平成29～令和3年度)」に基づき、劣化・損傷度の大きい施設の補修等整備を順次進めていく。
- ・漁業協同組合が整備する漁船修理施設等の共同利用施設や漁家レストラン等都市との交流促進に係る施設の整備について、国の補助制度の活用が推進するよう、漁業協同組合に対し活用に向けた助言・情報提供を行う。
- ・令和2年度は水産業競争力強化緊急施設整備事業補助金により、2漁協が施設整備を行った。



海鮮バーベキュー施設
(ガラス扉整備後)

【実績】

■ 漁港施設の整備（令和2年度）

事業名	区分	漁港	事業内容
水産物供給基盤機能保全事業	公共	佐野漁港	護岸補修
水産物供給基盤機能保全事業	公共	淡輪漁港	物揚場補修
漁港特別改良事業	府単	岸和田漁港	維持浚渫
佐野漁港施設整備事業	府単	佐野漁港	臨港道路補修等

■ 共同利用施設の整備（令和2年度）

漁協	内容
岸和田市	鮮度保持施設の増設
北中通	漁船保全修理施設の改築

施策19 地域に密着した漁港の効率的な利用と維持管理

【内容】

- ・第1種漁港の市町移管について、高石漁港(令和2年4月に高石市に移管)に続き、漁港移管に必要な整備を進めている漁港や完了した漁港について、移管にむけて協議を行う。

【実績】

- ・令和2年4月に高石漁港について高石市に移管

施策20 省エネ漁業の取組みによるコスト削減

【内容】

- ・省燃油対策については燃油価の高騰に備えるため、漁業者と国があらかじめ資金を積み立てている（漁業経営セーフティネット構築事業）。
- ・平成30年度は、全国漁業協同組合連合会を通じて国に対して各種要望を実施した。

年度	経営体数	契約数量	契約金額
29	305	7,922,740 ℓ	13,684,600円
30	298	7,839,200 ℓ	13,711,300円
元	303	7,753,640 ℓ	12,995,100円
2	305	7,471,840 ℓ	12,281,200円

取組方向④ 新鮮な魚介類を届ける

施策21 「大阪うみ・かわ・さかな」の魅力発信の推進

【内容】

- ・大阪の海や川で獲れる魚のイメージアップや知名度の向上を図る取組みとして、インターネットやイベントを活用した情報発信やPRを行っている。
- ・令和2年度は、コロナ禍で小中学校への出前授業が中止されたため、コロナ関係の国支援事業を活用し、動画及びパワーポイントの食育教材を作成した。
- ・ホームページやYoutubeにて情報発信を強化した。
- ・J:comの大阪産(もん)番組に水産物のテーマを紹介した。

■小・中学生向けの食育教材「なにわの海・大阪の漁業」の作成



食育動画教材「大阪湾ってすごいやん!」(約27分,多言語) 府内の全小中学校及び図書館にDVDを配布。 Youtubeでも公開 <https://youtu.be/WMijvK5oDtc>



食育ウェブ教材「お魚探検隊」(ファイルを府HPで公開) HP: http://www.pref.osaka.lg.jp/ryutai/osaka_mon/edu.html

■地域版ケーブルテレビでの情報発信



J:COMが令和2年10月に放送開始した大阪産(もん)の特集番組「かもん! おおさかもん!!」でカキとわかめを紹介

【数値目標】

出前魚講習会等の開催 (H30:8回/年→R2-6:計45回)

【実績】

■出前魚講習会等の開催(令和2年度)

令和2年度は新型コロナ感染拡大防止のため講習会は中止

年度	場所	内容	備考
R2	該当なし		
計		0回	

■ウェブによる情報発信



ホームページの大阪産魚介類解説ページの内容の更新(多言語表記の追加等、掲載内容の充実, R3.1)



大阪産(もん)Youtubeチャンネルに水産関係の動画を投稿(11本+食育動画教材4本, R3.3現在)

取組方向④ 新鮮な魚介類を届ける

施策21 「大阪うみ・かわ・さかな」の魅力発信の推進

【内容】

- ・大阪の海や川で獲れる魚のイメージアップや知名度の向上を図る取組みとして、インターネットやイベントを活用して、大阪産魚介類の魅力のPRを行っている。
- ・令和元年度は、府漁連・学校給食会・水産技術センターと連携して小学校での出前授業（魚講習会）を8校で実施した。
- ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、出前授業（魚講習会）は中止となった。



■ 出前授業（魚講習会）

【数値目標】

沿岸以外での魅力キャンペーン回数
(H26：0回→H31：10回)

【実績】

■ キャンペーン実施回数（令和元年度）

年月	場所	内容	備考
1.7	茨木市	・魚講習会	沿岸以外
1.8	豊中市 岬町	・魚講習会	沿岸以外 沿岸
1.9	大阪市	・魚講習会	沿岸以外
1.10	吹田市	・魚講習会	沿岸以外
1.11	熊取町	・魚講習会	沿岸以外
1.12	守口市	・魚講習会	沿岸以外
2.1	和泉市	・魚講習会	沿岸以外
2.2	大阪市	・シーフードショー大阪	沿岸以外
計		沿岸以外 8回	

施策22

◎ 漁業者の所得向上に資する新たな流通構造の検討

【内容】

- ・水産施策の改革を踏まえた大阪産魚介類の流通の効率化、ICT等の活用、品質・衛生管理の強化、国内外の需要への対応について、漁業者の所得向上と大阪産魚介類の競争力の強化に向け、漁業者団体が行う産地市場の統合や輸出拡大に向けた取組みを支援する。

【実績】

- ・今後、漁業者団体等と新しい流通構造の検討を行う。



産地市場におけるセリ風景

施策23

大消費地店舗と漁港をつなぐ“お魚の架け橋”づくり

【内容】

- 沿岸域以外への大阪産魚介類取扱いの拡大について、府漁連や関係課と協力しながらPRを行っている。
- 府漁連では、鮮魚移動販売車を活用し、府内北摂地域等に対し大阪産水産加工品を中心に販売及びPRを行っている（府はPR支援を実施）。
- 令和2年度は、府のホームページ「大阪産(もん)エールサイト」を設置しコロナ禍の影響を受けた府内産農林水産物の応援購入や、感染症対策を行って営業する大阪産(もん)の飲食店に特化した情報発信を行った。
- また、ホテルや料理店、企業の社員食堂、スーパーで企画される大阪産(もん)フェアについて、情報提供やPR支援を行った。

■大阪産(もん)エールサイト1（農林漁業者情報）



HP：大阪産（もん）エールサイト1：新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている大阪府の農林漁業者情報
http://www.pref.osaka.lg.jp/ryutai/osaka_mon/yell01.html

■ホテルや飲食店での大阪産魚介類の活用促進、PR



リーベルホテル アット ユニバーサル・スタジオ・ジャパン
 （大阪府産スズキのアクアパッツァ,R2.10-11月）



ホテル プラザオーサカ 大阪産(もん)づくしコース
 （コース内に泉州沖のマダイを使用,R3.1-2月）

【数値目標】

大阪産（もん）ロゴマーク登録件数
 （H30：88店→R6：130店）

【実績】

■大阪産（もん）ロゴマーク登録件数（水産関係）

年度	H26	27	28	29	30	R1	2
件数	37	38	37	57	88	93	96

■消費地への働きかけ（令和2年度）

年度	主体	出展
R2	府	・移動販売車による水産加工品のPR及び販売（府内JA農産物直売所）
	府漁連 ほか	・第18回シーフードショー大阪へのブース出展（大阪市）
	ホテル・ 料理店	・リーベルホテル アット ユニバーサル・スタジオ・ジャパン ・ホテルプラザオーサカ
	社員食堂 スーパー	・日本生命保険相互会社 ・コープこうべ

■日本生命保険相互会社の社員食堂



日本生命保険相互会社の社員食堂
 （釜揚げしらす丼・サワラの幽庵焼き・泉だこと胡瓜の酢の物,R2.6月と11月に各2日ずつ）

■スーパーでの取扱いの促進



コープこうべ（箕面市・豊中市・茨木市の店舗）での大阪産(もん)フェア
 （たい、すずき、ちぬ等を販売,R2.11月とR3.1月に各1日）

取組方向⑤ 海や川の魅力を届ける

施策24 「魚庭（なにわ）の海づくり大会」などイベントを活用した大阪漁業の発信

【内容】

・平成14年から魚庭の海づくり実行委員会（大阪府・府漁連・環農水研）が主催となり、大阪湾の環境及び漁業への理解を深めることを目的とした「魚庭の海づくり大会」を実施している。

【実績】

■「魚庭の海づくり大会」開催実績（令和2年度）
令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で開催中止。

施策25 ◎ 「はま」と「まち」のふれあいの場の創出

【内容】

・漁協が運営する潮干狩り場、アユ及びマス釣り場の解禁日等の観光漁業や、青空市場・朝市の情報について、ホームページ等への掲載によりPRを行った。

- 大阪の海と川の幸を食べよう
（青空市場、体験漁業、潮干狩り場）
<http://www.pref.osaka.lg.jp/suisan/tabeyou/index.html>
- 川釣り情報
（アユ及びマス釣り場）
<http://www.pref.osaka.lg.jp/suisan/kawaturi/index.html>
- 海釣り情報（海上釣堀）
<http://www.pref.osaka.lg.jp/suisan/umituri/index.html>

【数値目標】

青空市場開設数
（令和2年度～令和6年度：8箇所）

青空市場来場者数
（令和2年度～令和6年度：計250万人）

内水面漁業権河川利用者数
（令和2年度～令和6年度：計18万人）

【実績】

■ 青空市場開設数（令和2年度）

青空市場	箇所
堺市漁連とれとれ市、忠岡みなとマーケット、地蔵浜みなとマルシェ、泉佐野青空市場、田尻漁協日曜朝市、SENNAN LONG PARK 海のマルシェ、深日漁港魚市場	7

■ 青空市場来場者数

年度	27	28	29	30	元
来場者数	498,900	490,000	466,400	445,900	276,000

■ 内水面漁業権河川利用者数

年度	27	28	29	30	元
来場者数	21,353	26,664	225,333	28,998	33,919

施策26 ◎ 府民が自慢できる希少生物保護など生物多様性

【内容】

・平成27年3月に府みどり企画課が作成した生物多様性研修用冊子「知ろう・伝えよう おおさかの生物多様性」で、ため池や淀川ワンド群、海岸、干潟の生態系について解説し、ホームページで公開している。
<http://www.pref.osaka.lg.jp/midori/seibututayousei/kensyu.html>

・生物多様性の保全を図るための取組みについては生物多様性Cにおけるイタセンバラの野生復帰計画や、国土交通省と連携したイタセンバラ密漁防止啓発パトロールが実施されている。

・令和2年度は、国土交通省の調査によると、淀川ワンド（城北地区全ワンド）において889 個体のイタセンバラ稚魚が確認された。

【実績】

■ 淀川ワンド（城北地区全ワンド）におけるイタセンバラ稚魚の確認尾数（淀川環境委員会資料より）

年度	27	28	29	30	元	2
尾数	502	577	8888	20,767	11,677	889

※調査は、国土交通省淀川河川事務所と生物多様性Cが共同で実施

施策27

漁業者と府民が協働した森・川・海的环境美化活動や魚食文化の伝承

【内容】

・漁民の森づくり活動については、府漁連が実施主体となり、漁業者や地域の高校生が参加し、神於山での下草刈りや魚食普及活動を行った。また、芥川上流で開催された「うなぎの森づくり」に大阪市漁協、芥川漁協ともに参加し、植林活動を行った。

【実績】

■ 漁民の森づくり活動

年度	内容
27	・府漁連が7月及び11月に神於山で下草刈りを実施 11月には地元高校生に魚介類を使用した昼食を提供
28	・府漁連が7月及び11月に神於山で下草刈りを実施
29	・府漁連が7月及び11月に神於山で下草刈りを実施 7月には老朽化した柵を修繕
30	・府漁連が7、12、1月に神於山で下草刈りを実施 12、1月は台風21号による倒木の処理や柵の改修を実施
元	・府漁連が7、12、1月に神於山で下草狩りを実施
2	・府漁連が10、12月に神於山で下草狩りを実施

取組方向⑥ 安全・安心を届ける

施策28 大規模な地震、津波等に備えた漁港、海岸の整備

【内容】

- ・南海トラフ巨大地震発生に伴う津波への備えとして、防潮堤の耐震補強を行い背後地域の浸水被害を防止し、府民の生命や財産の保全を図っている。
- ・高潮対策が未了となっている7漁港海岸のうち、まず湾奥部に位置する堺(出島)漁港海岸の防潮堤の嵩上げ工事を令和2年度に実施。

【実績】

■高潮対策（令和2年度）

事業名	区分	漁港名	事業内容
緊急自然災害防止対策事業債	単独	堺(出島)漁港海岸	高潮対策事業

施策29 貝毒の発生による健康被害防止対策の徹底

【内容】

- ・貝毒対策については、有毒プランクトン対策マニュアルに基づき、環農水研が採取した貝毒原因プランクトンが警戒密度を超えた場合に貝毒検査を実施している。
- ・貝毒検査の結果が国の規制値を超えた場合、食の安全推進課及び沿岸市町と連携した潮干狩りパトロールを実施する等採取自粛の啓発並びに漁業関係者に出荷自主規制を要請し、被害の未然防止に努めている。
- ・令和2年は、貝毒原因プランクトンの発生量が少なく、毒化の期間も短かった。

【実績】

■貝毒の検査実績（令和2年）

区分	シジミ	アカガイ	トリガイ	タイラギ
規制期間	－	3/11-5/13	3/26-5/13	－
規制開始時毒量(MU/g)	－	4.6	15	－



■アサリ採取自粛の啓発看板

施策30 コイヘルペスウイルス病等魚病のまん延防止のための対策の徹底

【内容】

- ・特定疾病がまん延すると、カワチブナ等の養殖生産物に重大な損害を与えるおそれがあるため、疾病監視や防疫指導等のまん延防止対策を徹底している。
- ・コイヘルペスウイルス病は、現在でも国内で発生している特定疾病であることから、生物多様性Cと連携し、検査体制の確保に努めている。
- ・その他の特定疾病については、検査体制の確保に併せ、万が一府内で発生を確認した場合は、被害を最小限に食い止めるための措置を迅速に講じる。

【実績】

■コイヘルペスウイルス病の疑いのあるコイの検査実績

年度	26	27	28	29	30	元	2	3	4	5	6
検査数	7	0	0	4	2	2	1				
陽性数	0	0	0	2	1	1	0				

※令和2年度実績は、R3.2現在

■その他の特定疾病の日本における発生状況（R3.2現在）

特定疾病	発生状況	発生魚種
コイ春ウイルス血症	日本未侵入	コイ、フナ等
レッドマウス病	H27.3石川県で初確認 R2.10沖縄県で初確認	サケ科魚類等
急性肝臓壊死症	R3.3広島県で国内2例目確認	エビ

施策31 養殖業に被害をもたらすカワウや生態系を乱すブラックバス等外来魚対策の推進

【内容】

- ・外来魚対策については、生物多様性Cが外来生物の生態と駆除効果調査を実施している（国土交通省委託事業）。
- ・カワウについては、大阪府のため池で養殖魚を捕食される等の被害が深刻であることから、関西広域連合と提携した広域のかつ一体的な対策としてモデル事業を行っている。

【実績】

■ 関西広域連合におけるカワウ対策

年度	内容
26	・ねぐら・コロニー対策 ・採食地対策
27	・H26カワウ対策検証事業のフォローアップ ・新規捕獲手法の開発
28	・H27カワウ対策検証事業のフォローアップ ・新規捕獲手法の開発
29	・H28カワウ対策検証事業のフォローアップ ・新規捕獲手法の開発
30	・H29カワウ対策検証事業のフォローアップ
元	・H30カワウ対策検証事業のフォローアップ
2	・R元カワウ対策検証事業のフォローアップ

施策32 漁港や海域における油流出事故への迅速な対応及び安全操業対策の推進

【内容】

- ・油流出事故については、関係機関と連携し、迅速な対応と被害拡大の抑制に努めている。
- ・安全操業対策については、海上保安庁や美化協会、府漁連等と連携し、海上航行安全講習会の開催やライフジャケットの着用等を進めるとともに、一般船舶に対し本府の漁業操業の状況等の周知を図った。

【実績】

■ 海上航行安全講習会開催実績（令和2年度）

項目	内容
開催日	令和2年8月25日
主催	大阪府、大阪府海域美化安全協会、 （一社）全日本釣り団体協議会の共催
講習内容	・遊漁船の安全のために